

すてきな大分を見つけ、伝えよう！

2025.8.30

## 7月『大分の磨崖仏』講話会 ご報告



皆さんこんにちは。 如何お過ごしでしょうか。

先月は、磨崖仏研究家で文学博士の山路康弘先生をお迎えいたしまして、県下の磨崖仏についてお話を聴かせて頂きました。

山路先生は、学生るとき、豊後高田市の熊野磨崖仏をみてそのすごさに感動され、それ以来磨崖仏を保存科学の視点から、地質や芸術、歴史を調べ、深く研究して来られました。県下の数々の磨崖仏を調査し、直接携わった磨崖仏のお話は、参加者の皆さまの関心を最後まで惹きつけました。今回は、その要約となりますがご報告をいたします。

### 1. “大分県は磨崖仏の宝庫” 質と量で全国一

県下には約100カ所に磨崖仏が所在しています。その分布は、①国東半島地域②大分平野周辺地域、そして③大野川流域周辺の3地域に多く集まっているのが特徴です。

県内18市町村ではおよそ100カ所にのぼり、豊後大野22カ所と一番多く、次いで豊後高田の20カ所となります。一方、姫島、津久見、日出には存在していません。国東半島入口の日出0なのが不思議です。



【国宝・国特史】白杵磨崖仏（白杵市）

磨崖仏で国宝及び国の特別史跡に指定されているものは、全国でも白杵磨崖仏のみです。因みに白杵磨崖仏は、今年国宝指定30周年を迎えました。現在、県内の国宝は4カ所になっています。

国指定の大分県の磨崖仏（8件、10カ所）

白杵磨崖仏（白杵市）	国宝、特別史跡
菅尾磨崖仏/菅尾石仏（豊後大野市）	重要文化財、史跡
熊野磨崖仏（豊後高田市）	重要文化財、史跡
附 元宮磨崖仏及び鍋山磨崖仏	
大分元町石仏（大分市）	史跡
高瀬石仏（大分市）	史跡
犬飼石仏（豊後大野市）	史跡
緒方宮迫東石仏（豊後大野市）	史跡
緒方宮迫西石仏（豊後大野市）	史跡



【国重文・国史跡】

菅尾磨崖仏／菅尾石仏  
（豊後大野市）

### 2. 何故大分県は磨崖仏が多いのか

#### （1）仏教の興隆と地域民衆への浸透

国東半島では仁門（にんもん）、豊後大野では日羅（にちら）、白杵では蓮城（れんじょう）のような

高僧が造立したといわれています。しかし、その人物の实在の時期と磨崖仏が実際造立された時期（平安時代後期から鎌倉時代）とはかなりの開きがあるため、これらの高僧たちが直接磨崖仏の造立にかかわったというよりも、それぞれの地域で、権力を有していたものが中央から仏師を招いて造立させたとみる方が現実的ではと考えられています。

## （２）磨崖仏石材に適した地質が豊富に存在した

大分県には、磨崖仏を彫るに適した地質（岩）に恵まれ、これが磨崖仏が多く存在する一つの理由と考えられます。これに比べ関西は、石がかなり硬いため、磨崖仏の数が少なくなります。

県内では、北部は、安山岩や凝灰角礫岩が多く、比較的硬いため、磨崖仏の彫り方が、浅い浮彫（うきぼり）となっています。これに比べ、大分市以南、豊後大野や臼杵では、凝灰岩などの堆積岩が多く、比較的軟らか

い石質であるため、木彫りに近い丸彫り（まるぼり）が特徴です。彫りやすいのですが、壊れやすいという欠点があります。また石を実際彫ってみて分かったのですが、水に漬けると彫り易くなることがわかりました。また、磨崖仏が彫られている場所の近くには、必ず水があることもわかりました。民衆はそこから流れてくる水を有難く思ったことでしょう。



「豊後高田の磨崖仏」冊子（豊後高田市教育委員会）より

## （３）力を持った有力者の存在

磨崖仏を彫るということは、単独では難しく、そこには相当な財力や人手、彫る技術が必要です。単なる石工の集団ができるレベルではありません。必ず仏師の存在が必要です。臼杵の磨崖仏も相当の高度な技術を持った仏師がいた筈です。そしてこれらの手配ができる有力者が必ずいたことが考えられます。文献資料が乏しいのですが、豊後大野には、豊後大神氏の存在が考えられています。また、藤原摂関家一流の九条家が臼杵荘を所持していました。

## 3. 文化財は、地域の尊い宝物！

山路先生は、最後に「文化財は地域の宝物です」これを知って欲しいと強調され、「知っている文化財でも今一度そこに足を運んで、実際解説書等も参考にして確かめてみると発見があり、親しみが更に湧いてきます。これが文化財を大切に、地域で守ろうとする力になります。文化財を通じて人と人とのネットワークができ、地域が潤うようになっていけば、地域の活性化にもつながっていきます」と話されました。



山路先生は、大分ケーブルテレビの「大分の宝 磨崖仏」の放送や大分合同新聞で「大分の磨崖仏巡り」連載で、大分の磨崖仏の素晴らしさを紹介されています。是非ご覧ください。

☆ ☆ ☆ ☆

「大分の宝 磨崖仏」 大分ケーブルテレビ 毎月第2金曜日 11:00 より

「大分の磨崖仏巡り」 大分合同新聞 「くらし・文化」ページ連載 毎月第4水曜日

（文責 青井勝久）